

日本物理教育学会 ニューズレター



2013年度日本物理教育学会 年会 第30回物理教育研究大 会が開催されました



第30回物理教育研究大会が、去る8月10日(土)・11日(日)の2日間にわたって東北大学を会場として開催されました。「震災の地で考える 物理の力」を大会テーマとして、大会156名、懇親会約100名の予想を大きく上回る方々に参加していただきました。大会テーマに沿った特別講演2件と全体討論、また高校「物理基礎」に関するシンポジウムの他、口頭発表30件、ポスター発表9件にわたって活発な議論が展開されました。

大会初日には、元筑波大学附属高校の広井禎先生に対して、これまでの本学会への多大なる貢献を考慮して名誉会員の称号授与式も行われました。

大会翌日に特別企画として催した「被災地バスツアー」にも50名の方に参加していただき、貴重な体験をしていただきました。

より詳しくは物理教育学会誌上で報告させていただきます。関係の皆様、ありがとうございました。



物理教育に関連する イベントカレンダー

2013年9月16日(月)～20日(金)
2013年 第74回応用物理学会秋季
学術講演会(物理教育は17日)
於 同志社大学京田辺キャンパス

2013年9月20日(金)～23日(月祝)
日本物理学会2013年秋季大会
核物理, 宇宙線・宇宙物理領域
於 高知大学

2013年9月25日(水)～28日(土)
日本物理学会2013年秋季大会
物性領域(領域13物理教育を含む)
於 徳島大学

2013年11月2日(土)
13:00～16:45
日本物理学会2013年度公開講座
「物理学がヒッグズ粒子にたど
り着くまで」
於 東京大学本郷キャンパス小柴
ホール

2013年11月24日(日)
「第3回高校物理の授業に役立つ
基本実験講習会in新潟」
於 新潟駅南キャンパスときめい
と(予定)

学会関連イベントは、以下のサ
イトでも紹介しています

<http://pesj.jp/event>

「物理教育」各号の投稿締切日について

学会誌「物理教育」各号の投稿締切日は、次のとおりです。なお、次号61-3号は、9月2日（月）に発刊予定です。

会誌No.	投稿の締切日
Vol.61-4 (2013/12/2発刊予定)	2013/ 9/5(木)
Vol.62-1 (2014/3/3発刊予定)	2013/12/4(水)
Vol.62-2 (2014/6/2発刊予定)	2014/ 3/5(木)
Vol.62-3 (2014/9/1発刊予定)	2014/ 6/5(木)

2013年 第74回応用物理学会秋季学術講演会が開催されます

2013年 第74回応用物理学会秋季学術講演会が以下の日程で開催されます。物理教育分野のセッションは17日です。

【日程】2013年9月16日(月)～20日(金)

【場所】同志社大学京田辺キャンパス

詳細は、下記サイトをご参照ください。

<https://confit.atlas.jp/guide/event/jsap2013a/top>

日本物理学会2013年秋季大会が開催されます

日本物理学会の2013年秋季大会が以下の日程で開催されます。領域13の物理教育分野は物性領域の日程に含まれます。

▶核物理、宇宙線・宇宙物理領域

【日程】2013年9月20日（金）～23日（月祝）

【場所】高知大学（朝倉キャンパス）

▶物性領域（「領域13 物理教育」を含む）

【日程】2013年9月25日（水）～28日（土）

【場所】徳島大学（常三島キャンパス）

詳細は、下記サイトをご参照ください。

<http://www.jps.or.jp/activities/meetings/index.html>

第12回アジア太平洋物理会議(APPC12)が開催されました

先月号でもご報告させていただきましたように第12回アジア太平洋物理会議（APPC12）が、7月14日（日）～19日（金）に幕張メッセ国際会議場で開催されましたが、初めて実現した物理教育セッションでの発表件数は、口頭発表24件（うち招待講演12）、ポスター発表47件でした。

会誌の記事分類「コメント」の新設について会員の意見を募集中です

会誌検討委員会では、会誌に記事分類「コメント」を新設すること検討しています。これについて、会員の皆さまからのご意見をお待ちしています。詳細は、下記サイトをご覧ください。

<http://pesj.jp/doc/comment20130811.pdf>

なお、意見募集の締め切りは2013年9月20日（金）までです。

新学期の参考書・教科書に！ご利用ください

E.F.Redish著・日本物理教育学会監訳

「科学をどう教えるか—アメリカにおける新しい物理教育の実践—」（丸善出版）

大変好評を得て発売されています。詳細は、下記サイトをご覧ください。

http://pesj.jp/2012doc/maruzen_perbook.pdf

物理教育研究メーリングリスト(ML)が設定されています

この物理教育研究MLは、本会正会員（学生会員を含む）であればどなたでも参加できます。

参加を希望する会員は、subject欄に「per-ml参加申し込み」、本文として、日本物理教育学会会員番号と氏名を記載したe-mailを、MLへの投稿に使用するメールアドレスから以下のアドレス宛てに送付してください。

[per-ml-adm \(at\) pesj.jp](mailto:per-ml-adm(at)pesj.jp) ただし、(at)は@で置き換えて下さい。

また、このMLの詳細については次のウェブサイトを参照してください。

http://pesj.jp/research/ml_per

特集：支部活動の紹介 (新潟支部)

【各支部の日頃の活動の紹介をする特集を、6月号より始めました。北海道支部、中国四国支部に続く第三弾は、新潟支部です】

新潟支部では、支部設立以前より県内で活動している「新しい理科教育を研究する会」と協同・協力しながら活動を行っています。「新しい理科教育を研究する会」で毎月例会を実施して会員同士の情報を共有していますが、その折に支部活動やイベントの計画を立てたりもしています。支部設立当初より、将来的には北陸支部へ拡大することを目標としていますが、まだ実現していません。今後、近隣県の方からも参加していただき、活動を広げて行きたいと思っています。

「支部理事会」の開催

毎年5月に開催しています。年度計画、役員を選出や支部総会等について検討します。

「支部総会」の開催

毎年7月に開催しています。活動報告、活動計画等議事の他、研究報告と1時間半程度の講演会を行うのが恒例です。

「夏の学校」の開催

「新しい理科教育を研究する会」と合同で、毎年8月に1泊程度の研修旅行を実施しています。行き先を県内と県外と隔年毎に計画しています。色々なところに行っていますが、最近では東海村J-PARCや筑波大学を訪問してきました。

支部会誌「新潟 物理教育」の発行

年1回発行しており、2013年で第17号となりました。研究報告、活動報告等で構成しています。

「竹澤賞」の募集

当支部の設立に御尽力された故竹澤攻一先生のお名前を冠した賞を設定し、物理教育関係で顕著な功績を挙げられた方を表彰しています。10月末までに募集、11月に選考委員会を開催し支部理事会の承認により決定します。

「クリスマス講演会」の開催

毎年12月に「新しい理科教育を研究する会」と合同で講演会を実施しています。県内・県外の講師の方から興味深いお話しをお聞きする機会となっています。竹澤賞の授賞式も同日に行い、記念講演会も実施しています。この日に講師の先生も含めての懇親会を開くことも恒例となっています。

「高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 新潟」の開催

物理教育研究会が主催し本学会共催で実施しています。11月～12月の日曜に実施しており、2013年で3回目を迎えます。参加者は県内高校教諭が多いですが、大学生や県外の方にも参加していただいております。毎年盛況です。

「青少年のための科学の祭典新潟県大会」に協力・参加

毎年2月頃に行われる「青少年のための科学の祭典新潟県大会」に協力し、県内の高校生やブース担当者の調整等を行っています。

近隣県の方で興味のある方がいらっしゃいましたら、支部事務局までメールにて御連絡ください。関連行事など一斉送信にて配信しております。

日本物理教育学会新潟支部事務局
新潟県立新潟向陽高等学校 大野成康
ono.naruyasu (at) nein.ed.jp
((at)は@で置き換えてください)

【事務局より】夏の学会や研究会で得たヒントをぜひ新しい学期の講義で活かして行きましょう。ニューズレターで広報したい行事などありましたら、9月15日までにnews(at)pesj.jp ((at)は@で置き換えてください)へご連絡ください。編集委員会で掲載の適否を審議し、記述を編集いたします。

発行：日本物理教育学会会長 高橋憲明
編集：日本物理教育学会ニューズレター編集委員会
発行日：2013年9月1日